

# 2022年の新春を迎えて



日立市議会議長  
蛭田 三雄



日立市長  
小川 春樹

## 新型コロナウイルスを克服し 安心と期待を皆様へ

明けましておめでとうございます。  
2022年の新春を皆様とともに迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスとの戦いが続き、本市では、市民の皆様の命と健康を守るため、ワクチン接種をはじめとした感染防止対策を迅速かつタイムリーに推進するとともに、地域経済の活力を取り戻すべく、事業者の皆様への支援を積極的に進めてまいりました。皆様には、長期間にわ

たり、感染予防に努めていただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

こうした中、本市のまちづくりにおきましては、日立総合病院の地域周産期母子医療センターが12年ぶりに再開し、みやた認定こども園の新園舎が完成するなど、お子さんをより安心して生み育てられる環境づくりを進めることができました。また、日立シビックセンター科学館「サクリエ」や、かみね動物園の新たなレックサーパンダ舎がオープンし、まちのにぎわいづくりも大きく進展したものと考えております。

## デジタル社会に対応した 議会運営を目指して

明けましておめでとうございます。  
2022年の新春を健やかに迎え、心から喜び申し上げます。  
日頃から、市議会の運営に対し、ご指導、ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、東京2020オリンピックが一年遅れで開催され、様々な競技における選手の活躍により、日本は過去最多のメダルを獲得するなど、私たちに夢や希望、感動を与えてくれました。

また、新型コロナウイルス感染症については、緊急事態宣言等の発令により、外出の自粛や公共施設の休館、各種イベントの中止など、市民生活に大きな影響を及ぼしましたが、国や県の緊急対策や日立市独自の支援策の速やかな実施のほか、市民の皆様への徹底した感染症対策により、社会経済活動の正常化に向けて少しずつ動き出しております。

市議会においては、効果的、効率的な議会運営と危機管理体制の更なる強化のため、タブレット端末を導入し、情報伝達の迅速化を図るとともに、議会資料のペーパーレス化

本年も、新型コロナウイルス克服に向け、各種対策に全力で取り組むとともに、今後10年間のまちづくりの指針となる、新たな日立市総合計画の策定を進め、本計画をもとに、デジタル化や脱炭素社会の実現といった新たな課題にも対応しながら、すべての世代の方々が生き生きと輝く、安心と期待に満ちたまちづくりを進めてまいりますので、皆様には温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、健康で幸多き年となりますよう、心から祈り申し上げます。

やオンライン会議への活用など、デジタル社会に対応した議会運営について議論を進めております。

本年も全議員が一丸となり、より身近で開かれた議会運営を目指して活性化に取り組んでまいります。さらには、議員間及び行政との議論を重ね、市民の皆様様の様々なご意見を適切に市政に反映することができるよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が市民の皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい一年となりますよう心から祈り申し上げます。



## 熱き戦いに挑む、若者たちの決意

### -Baseball-

明秀学園は3月18日から開催される選抜高等学校野球大会（春の甲子園）への出場が有力視されています。



明秀学園日立高等学校 野球部  
主将 石川 ケニー さん（2年）

11月の秋季関東大会では、チーム全員が一丸となり、多くの方の応援があったからこそ、優勝することができました。選抜大会に出場できれば、一球で仕留める集中力をもって、明秀が得意とする打ち勝つ野球を見せたいです。

### -Volleyball-

日立二高が1月5日から開催される全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）に2年連続で出場します。



日立第二高等学校 女子バレーボール部  
主将 小又 涼葉 さん（3年）

自分達の強みである「つなぎ」のバレーで、県大会を2年連続で優勝することができました。全国では、支えてくれる両親やOGに感謝しながら、1つでも上を目指してがんばります。私たちがらしく、楽しいバレーを届けたいです。

### -Basketball-

十王中が1月4日から開催される全国U15選手権大会（U15 ウィンターカップ）に出場します。



十王中学校 女子バスケットボール部  
主将 薄井 七海 さん（3年）

県大会では、最後まであきらめないチームディフェンスで優勝できたことが嬉しかったです。ウィンターカップでも、これまでのようにみんなで走りきって、一戦でも多く勝ち上がることで、応援してくれる人たちに、感謝の気持ちを伝えたいです。